

【学校長コラム】 さかなクンからのメッセージ...

先日、5年生が「いじめ防止教室」でスクールロイヤーさんからいろいろな話を聴き、「いじめ」について考えました。集中して話を聴き、「いじめ」を防ぐためにしっかりと自分の意見を述べる5年生の姿をうれしく思いました。

その中で、以前聴いた、さかなクンからの「いじめ」に対するメッセージを思い出しました。

『広い海へ出てみよう』というタイトルのお話しでした。

それは、中一のとて、吹奏楽部で一緒だった友人に起こった「いじめ」を振り返って、さかなクンが話したことでした。「いじめ」はさかなの世界と似ている...と言います。

メジナというさかなは、海の中で仲良く群れて泳いでいます。しかし、せまい水槽と一緒に入れたら、一匹を仲間はずれにして攻撃し始めたそうです。ケガしてかわいそうなので、そのさかなを別の水槽に入れると、残ったメジナはまた別の一匹をいじめ始めたそうです。また助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。その繰り返しだったそうです。

さかなクンは話します。

「広い海の中ならこんなことはないのに、小さな世界に閉じこめると、なぜか『いじめ』が始まるのです。同じ場所にすみ、同じエサを食べる、同じ種類の仲間同士なのに...。」と。

中学時代のいじめも、小さな部活動の中でおきたそうです。

さかなクンは話します。

「大切な友達ができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んだりしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのにもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。」と。

小学校や中学校の数年間、長い人生の中でほんの一瞬かもしれません。狭い世界かもしれません。でも、子どもたちにとっては、長い時間、広い世界で、そのときはそれがすべてと感ずるかもしれません。しかし、だからこそ、そんな中でも、この先に「広い空がある、広い海がある」ことを知っていることはとても大切なのだと思います。

たまには、広い空や広い海を眺め、大きく深呼吸してみましょう。

